

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：天才キッズクラブ楽学館登戸園	種別：認可保育所	
代表者氏名：上原 昌子	定員（利用人数）： 60名（68名）	
所在地：〒214-0014 川崎市多摩区登戸2184-1 トミタヤBLD1・2F		
TEL：044-712-5048		
ホームページ：http://tensaikids.jp/		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成29年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 TKC		
職員数	常勤職員： 13名	非常勤職員： 11名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士：18名	栄養士：1名
	看護師：1名	
施設・設備の概要	（居室数）保育室：4室 トイレ：2	
	調理室：1（21.33㎡） 事務室：1（17.72㎡）	
	（設備等）園庭：有（176.93㎡）	

③理念・基本方針

法人理念

- 子ども一人一人を大切にし保護者から」も信頼され地域に愛される保育園を目指し、子どもの最善の利益を考え創意工夫する
- 大人も子どもも楽しめる「世界一ワクワクする保育園」
- ここに来ると皆元気になれる「地域のパワースポット」

保育理念

- 全ての子どもが天から授かった才能を持っているという理念に基づき色々なチャレンジをし、成功体験と失敗体験から「生きる」を育てる
- 教えない、やらせない、無理強いしない

基本方針

乳幼児それぞれの時期に、一人一人の子どもに天から授かった潜在能力を引き出しIQ（学力）EQ（心力）GQ（元気力）のバランスの良い子どもを育てる

- 教えない
- 競争する
- 子ども扱いしない
- 習慣（挨拶、早寝早起きなどの基本的な死活習慣を身につける）
体力づくりで脳への刺激を与えることにより、集中力を高める

④施設・事業所の特徴的な取組

天才キッズクラブ楽学館登戸園は、向ヶ丘遊園駅から徒歩5分程度に位置する認可保育園です。同じビルの3階には同法人の認定登戸園が併設されています。保育活動は乳児は各年齢が保育室に分かれ落ち着いた雰囲気の中で生活中心の活動を行い、幼児は活動によっては合同で保育するなどワンフロアの保育室の利点を活用し、異年齢で過ごす機会もあります。認定園と合同で使用している屋上園庭に人工芝が敷いてあり、鬼ごっこからマラソンなどの運動遊びまで身体を沢山動かす事の出来る安全な環境です。近隣には、幾つかの公園があるので目的によって場所を選んでいきます。保育理念のすべての子どもが天から授かった才能を持っているという理念に基づき子ども自らの「やりたい!」「楽しい!」「できた!」の気持ちから、個々の得意や良さを伸ばし、自信を育て、次なる意欲に繋げる保育を心がけています。その為にも「大人が楽しむこと」を大切に職員が安心して働きやすい空気感の良い職場作りとして具体的な取り組みもあります。沢山のカリキュラムは「上手にできるようになること」が目的ではなく、自分の好きなことを見つけたり、仲間の応援の中で挑戦し継続することで「諦めなければ出来るようになる」「仲間の頑張っている過程を認める」等の『生きる力』を育む為に行っています。家庭ではできない経験や教育に保護者の多くが満足してくれています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年10月23日（契約日） ～ 令和4年4月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)子どものやる気を育む保育を実践しています

すべての子どもが天から授かった才能を持っているという保育理念にもとづき、様々なチャレンジを応援し、子どもの成功体験や失敗体験から「生きる力」を育てています。保育理念の「教えない、やらせない、無理強いしない」を踏まえ子どもの「やりたい!」「楽しい!」「できた!」の気持ちから子ども一人ひとりの得意や良さを伸ばし、自信を育て、「もっとやりたい」と次なる意欲に繋げる保育を行っています。数多くのカリキュラムがありますが、「上手に出来るようになること」が最終目的ではなく、自分の好きなことを見つけるきっかけとし「仲間の応援の中で挑戦し継続することで諦めなければ出来るようになる」「仲間の頑張っている過程を認める」等の生きる力を育む保育が子どものやる気につながっています。

2)職員間の連携が十分でコミュニケーションが図られています

保育園の運営は理事長のリーダーシップで行われていることから、前向き思考の明るい社風が職員に浸透しています。職員は、子どもの手本となる身近な大人として、言葉遣いや立ち振る舞い、他者への思いやりを忘れず、どんな時も人としてマナー等をわきまえた態度で勤務にあたることを基本に考えています。職員個々の良い所を互いに探し認め合い前向き思考の明るい職員同士のコミュニケーションが円滑に図れ、良好な人間関係が構築されています。

◇改善を求められる点

1)園の課題の明確化

全体的な計画をもとに年間計画、月案、週日案と計画の後に、保育の評価、反省を定期的に行い、実践をもとに次の計画に反映しています。園の自己評価を行っていないこと

を課題としています。今後は、職員の自己評価をまとめ、課題などを話し合い、園の課題等を明確にすることで改善を保育へ繋げていくことが期待されます。

2)業務の手順書やマニュアルを整備

各種マニュアルの整備を行っています。業務をする上で臨機応変に対応はしていますが、新入職の職員も経験豊富な職員も全ての職員が同じ基準のもとに同様の対応を行うことは重要です。園の各業務を洗い出し、園の業務に即した手順書やマニュアル等を整備し、保育を見える化して全職員で共有しながら同じ業務を行うことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園6年目、今回初めて第三者評価を受けさせていただきました。
受審するにあたり、職員同士が各項目について自園の評価をし、話し合う中で園の強み、課題が明確になりました。
課題の1つとして、保育の面で日々確実にやっていることでも、明文化してマニュアルにしていない事が多かった事という点がありました。今後はマニュアル整備をし、さらに保育の質を高めることに繋げていきたいです。
今回、第三者評価を通して保護者の皆さまからのご意見、職員の率直な意見、調査員の方々の評価と、多くの視点から多面的に自分たちの園を見ることが出来ました。
結果を真摯に受け止め、さらに子どもたち、保護者の皆さま、職員にとってより良い園となれるよう、改善を繰り返して参ります。
最後になりましたが、保護者の皆さまにはお忙しい中多くの方々にアンケートにお答えいただき感謝申し上げます。
調査員の方には、新型コロナウイルス感染症の影響で予定変更を多々させていただいた中ご足労いただき、丁寧なフィードバックをいただき、ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり